

出会いの扉

このコーナーでは、市内で活動している団体・サークルを紹介します。広報紙でPRして活動の輪を広げ、仲間を増やしてみませんか。掲載希望は市民広報課まで（☎65-6504）。
※営利や宗教・政治・選挙を目的とするもの、限られた地区の住民が参加する活動や団体などは掲載できません。

団体名 プラナー ヨガ

〈代表〉小森 康子さん
連絡先：二矢愛子さん(☎090-3724-2804)

活動場所 公立木之本公民館 伝統文化芸能保存活動センター(木之本町木之本)

活動日時 毎週金曜日 20時～21時



活動PR

皆さん、ご存知ですか。ヨガには脂肪燃焼とシェイプアップ効果、リラクセスなど様々な効果があります。

ゆっくりとヨガのポーズをとることで、身体と呼吸を通して内なる自分と向き合い、より自分らしい人生を見つけられ、イキイキとした生活につながります。

とても不思議ですが、たくさんの魅力を持ったヨガ。いつまでも心身ともに健康でありたいと願う方々が、老若男女を問わず集まっています。

興味のある人は、ぜひご連絡ください。

3月15日(日) 西浅井の魅力堪能

道の駅「塩津海道あちかまの里」で、恒例の道の駅まつりが開催されました。

西浅井地域振興イベント実行委員会による模擬店「にぎわいテント村」や振る舞い千人鍋のほか、菅浦のパネル展示やガラポン抽選会などお楽しみがいっぱい。野外ステージではご当地ユニット「Can'ce♡浜姫」のコンサートや地元中高生のバンドライブが行われ、多くの家族連れらで賑わいました。



3月15日(日) コンサートで避難訓練

もしも、コンサート中に地震が起きたら…。虎姫文化ホールで、大地震が発生したことを想定し、主催者、出演者、観客、施設管理者らの避難訓練を兼ねて行われた「スプリング・ドリル・コンサート」。

コンサートでは、滋賀県警音楽隊や長浜バイオ大学吹奏学部、ながはまシニアアンサンブル「銀の権」の演奏を楽しみながら、関係者の適切な誘導で無事全員が避難しました。



このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課（☎65-6504）までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゅーす」 検索

3月11日(水) 哀悼の意、そして復興への祈り

東日本大震災から4年。「観音文化ネットワーク会議」の呼びかけもあり、市内の各観音堂において、追悼法要が行われました。

このうち、地震発生時刻にあわせて行われた木之本町石道の石道寺では、前日からの雪が残る中、住民らおよそ30人が集まりました。犠牲になられた方への哀悼の意を表し、被災地の一日も早い復旧・復興を願い読経、焼香し手をあわせました。



3月13日(金) わくわく絵本の世界

市内の読み聞かせグループ「ジーバーぼこぼこ」の交流会が、びわ高齢者福祉センターで行われました。

会員100人の「ジーバーぼこぼこ」は、主に旧長浜・浅井・びわの小学校で活動しており、昨年10周年を迎えました。

この日は、各グループの発表が行われ、詩の朗読、早口言葉や手遊び、輪読、巻き絵などを披露。集まった会員は、情報交換しながら仲間同士の楽しい時間を過ごしました。

3月14日(土) 自分のペースで自転車が楽しい

春の琵琶湖畔を自転車で走る「びわ湖一周ロングライド2015」の前日イベントとして、「びわ湖サイクルフェスタ」が豊公園で開催されました。

最新のスポーツ自転車の試乗会やウェアの販売、飲食・観光ブースが並んだほか、自転車ルールが学べる「自転車シミュレーター」体験コーナーも。来場者は、「バイクと違い自分の力で進むところが楽しい」と自転車の魅力を話しました。



3月14日(土) これで私もデザイナー

伝わる情報発信講座「チラシデザイン編」が、六荘公民館で行われ、同時にインターネットでも生中継されました。

これは、インターネット放送局「STUDIOほく」と長浜市が協働で開催したものです。まずは、ターゲットを明確にすること、そしてターゲットにあわせたレイアウトやフォント、色使いなど、ワードで魅力的なPRチラシを作成するためのデザイン手法について、デザイナーから学びました。